

SDGs重点課題への取り組み

持続可能な社会の構築に向けて 特定したSDGs重点課題への取り組みを推進します。

自己消費型太陽光発電の普及促進

昨今のエネルギー価格高騰に伴う影響により、当社グループでは従来のような売電型案件からすべての案件が自家消費型へとシフトしたことにより、昨年と比較して太陽光発電量出力数については2,807.069kwから1,916.539kwと32%減となりました。しかし、太陽光発電の新規着工件数は11件から16件と45%増となりました。

自家消費型へとシフトした要因としては、太陽光発電設備の設置場所が倉庫や店舗の屋根など限られたスペースでの設置が多い点と、自家消費型での電気の地産地消が加速したという背景があります。今後も自家消費型の太陽光発電設備の設置件数を増やし、再生可能エネルギーの促進に貢献していきます。

太陽光発電新規工事合計件数

16件
(前年度比45%増)



障がい者の雇用促進

障がい者雇用の取り組みとして、2021年より障害を持つ社員の能力活用を目的として、農作業支援を通じて社会貢献を行う活動を立ち上げ推進しています。当社グループと協力会社、業界団体とパートナーシップを結び、協力先が取り組む黒豆生産における種まき、収穫、農作物の加工品の梱包、選別、販売等を通じて、社会に貢献しています。同取り組みは、障がい者雇用の側面のみではなく、当社の定年を迎えた社員の活躍と再雇用課題といった多様な働き方を実現する取り組みとして推進しており、今後も取り組みを強化していきます。



当社グループの事業内容とも直結する「再エネの利用促進」「交通インフラ長寿命化への貢献」などのSDGs重点課題を解決するため、自己消費型太陽光発電の普及促進など具体的な取り組みを進めています。一宮市公共施設アダプトプログラムに参加するなど、地域社会へ貢献するための活動も推進しています。

一宮市公共施設アダプトプログラムに参加

当社はボランティア活動の一環として、一宮市アダプトプログラム(清掃から始めるまちづくり)に参加しています。当社は地域の安心・安全、快適な暮らしを支える社会インフラサービス企業として、公共性の高い事業を展開するほか、このプログラムに参加する前から地域の清掃・美化活動を行っていましたが、今回、一宮市が運営する取り組みに公式に参加することといたしました。

日ごろ慣れ親しんだ地域の公共施設に対し、愛情をもって清掃活動に取り組み、会社の成長と持続可能な地域づくりの両方を支えていきます。



ファシリティ事業の新拠点「FUJI 138 OFFICE」開設

愛知県一宮市にファシリティ事業の新拠点「FUJI 138 OFFICE」を2024年1月に開設しました。自社の空調衛生サービス部に加え、2023年4月にグループインした村川設備工業(株)の本店・作業所も移転し、拠点集約を図りました。新オフィスコンセプトデザインには、地球環境の維持に貢献する環境を主題にしたオフィスデザインを取り入れており、オフィスの中には木々の緑や当社環境事業で手がけているテラリウム水槽などが置かれています。

また、社員が働きやすい環境を設計するため、内装、インテリアを刷新し、フリーアドレスデスクを取り入れたオフィス環境を実現することで、職場内のコミュニケーションを活性化し、グループ一丸となって、社会の課題を解決するソリューションの提供を加速していきます。

